

組合支援 ウォッチ

魚町商店街振興組合が 内閣総理大臣賞を受賞しました!

本号の「役員企業訪問」コーナーでも紹介されましたが、魚町商店街振興組合の第3回「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進本部長賞（内閣総理大臣賞）受賞について、改めて紹介します。

SDGsってナニ?

“SDGs”、最近よく耳にする言葉ですが、ご存じですか?約1年前に北九州市立大学が市民を対象にSDGsの認知度について調査したところ、約8割が知らないという結果だったそうです。

SDGs(持続可能な開発目標)とは、“Sustainable Development Goals”の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さないこと(leave no one behind)」を誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものです。

このように説明すると、なんだか難しく、取っつきにくいように思いますが、簡単に言うと、先進国も発展途上国も関係なく、貧困・環境・教育などの問題を身近なところ、できることから解決し、子どもや孫世代のために、後世に美しい地球を残していきましょう!ということではないでしょうか。

また、北九州市は2018年4月に経済協力開発機構(OECD)からアジア地域初の「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選出されています。



魚町商店街アーケード

魚町商店街とSDGs

北九州市がモデル都市に選ばれたことを契機に、魚町商店街は2018年8月に“SDGs商店街宣言”を発表しました。宣言後はまちゼミにSDGsの要素を取り入れたり、北九州ESD協議会と連携して活動を行ったりしています。商店街では、宣言以前にも環境や教育などに配

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

慮した商店街活動を率先して行ってきており、アーケードへの太陽光パネル設置や街内照明のLED化、子育て支援施設「ママトモ魚町」の誘致など多岐に渡ります。個店の一例を挙げると、飲食店では北九州市が推進する“食べものを残さない”運動である「残しま宣言」に賛同し、取り組むなどしています。この記事をご覧になって「あれ？うちの組合や会社でも似たようなことやっているぞ!」と思われた読者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そうです！身近な活動もSDGsに繋がっているのです!!

取り組みの成果が数々の受賞に

昨年は、魚町商店街取り組みが次々に表彰され、まさに受賞イヤーでした。「第1回SDGsクリエイティブアワード GOLD AWARD賞」(2019年3月)、中小企業庁「はばたく商店街30選」(同年6月)、そして12月には今回のテーマでもある第3回「ジャパンSDGsアワード」



梯理事長と安倍総理大臣

(事務局：外務省) の最優秀賞であるSDGs推進本部長賞 (内閣総理大臣賞) の受賞となりました。昨年12月20日、首相官邸にて行われた表彰式に梯理事長が出席、安倍総理大臣より表彰状を授与されました。

これからの魚町商店街

もともと先進的な気質をもつ魚町商店街。この受賞で終わるはずがありません。SDGsという大きな目標の達成に向けて、商店や顧客が同じ意識を持って商品やサービス提供、雇用、まちづくりなどを行っていきけるよう取り組みを加速させたい、と意欲十分です。今後も魚町商店街から目が離せません。

組合概要

組 合 名：魚町商店街振興組合
住 所：北九州市小倉北区魚町3-1-15
理 事 長：梯 輝元
U R L：http://www.uomachi.or.jp/



第3回「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進本部長 表彰状